

栃木県生活協同組合連合会 2023年2月度の活動報告

<p>◇機関会議等</p> <p>6日 生物多様性問題学習会 6日 第5回くらし部会 7日 2022年度第5回理事会</p> <p>◇ネットワーク関連</p> <p>9日 とちぎ食の安全ネットワーク世話人会 16日 消費者カレッジ用動画撮影(足利大学工学部)</p> <p>◇行政関連</p> <p>2日 栃木県県民生活部くらし課来訪 13日 県民文化課来訪 15日 宇都宮市食品安全講演会 21日 栃木県くらし課と打合せ 21日 とちぎ子育てネットワーク</p>	<p>◇防災・被災地支援</p> <p>1日 MSC防災無線訓練 15日 日生協中央地連大規模災害対策協議会</p> <p>◇その他</p> <p>1日 全漁連第28回全国青年・女性漁業者交流大会審査会 6日 宇都宮法人会主催Excel入門セミナー 9日 生協総研公開研究会 戦争と平和を市民が考えるために 10日 地方連携推進フォーラム2023in徳島 21日 栃木放送番組審議会 25日 日弁連貧困問題全国キャラバン 26日 子どもSUNSUNプロジェクト</p> <p>〈適格消費者団体NPO法人とちぎ消費者リンクの活動〉</p> <p>7日 事務局会議 14日 とちぎ消費者リンク理事会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
---	--

県連活動

1. 機関会議等

● 2月7日(火) 2022年度第5回理事会

- 議案 【議決事項】 第1号議案 第54回通常総会の関連事項決定の件
第2号議案 代議員枠及び会員代議員定数決定の件
第3号議案 2022年度振り返りと2023年度計画及び事業予算決定の件
- 【協議事項】 (1) 第54回通常総会議案書について
- 【報告事項】 (1) 県生協連 月度の定例報告及び月度決算報告
- 【交流事項】 (2) 消費生活協同組合法施行細則の共有について
(3) 会員報告
- 【資料報告】 (1) 花といちごのフェスティバル後援報告
(2) 日本生活協同組合連合会 中央地連報告
(3) 2023年度会議スケジュール
(4) 総会までのスケジュール

● 2月6日(月) 第5回くらし部会

くらし部会で起案した「生物多様性学習会」に参加し、引き続きオンラインで部会を開催しました。11/13(日)に開催した第17回うつのみや食育フェアの振り返りとして、次年度につなげたいこと等の交流や、参加生協(生活クラブ生協、よつ葉生協、とちぎコープ、パルシステム茨城 栃木)および日本生協連中央地連による活動報告と交流を行いました。また、本日の学習会の参加者アンケートを、後日メールで共有することとしました。

● 2月6日(月) 生物多様性問題学習会 (オンライン開催 参加者 69名)

テーマ:生物多様性における水田や農村の役割について

講師:宇都宮大学農学部農業環境工学科 准教授 守山 拓弥 氏

(DASH村の里山博士、所さんの目がテンの環境監修をされていたと自己紹介されました)

上三川地区の有機の田んぼ等での「ダルマガエル」の生態研究と稲作の関係を例示として、人と自然の共生についてご教授いただきました。農水省が進める「グリーン農業戦略」では、メタン発生を抑制する目的で水田の長期中干しを推奨していますが、オタマジャクシは絶えてしまいます。水田は人間が手を加えた「二次的自然」であり、多くはもともと湿地帯でメタンも自然に発生していました。温室効果ガスの削減は必要なことですが、優先順位として妥当なのか問題提起をされました。カエルの存在は、生き物でつながる大きな輪の中の一つです。全ての生き物は、その存在自体に意義があるのだと教えていただき、大切なことを考えさせられる学習会となりました。



2. その他

● 2月10日(金) 地方連携推進フォーラム 2023in 徳島(主催・消費者庁)

「考えよう、これからの消費者行政～自治体の「今」を知り、学び、そして活かす～」をテーマにオンラインで開催されました。兵庫県、石川県、徳島県より取り組み報告と、消費者庁によるモデルプロジェクトおよび先進事例の紹介等がありました。



● 2月15日(水) 宇都宮市食品安全講演会「食品の安全について学ぼう」

内容 (1) 講演:消費者が思うこと、企業が実践していること

講師:日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会 鈴木 源一 氏

(2) 講演:セブンイレブンにおける惣菜の安全管理

講師:セブンイレブン・ジャパン 斉藤 俊二 氏

● 2月25日(土) 日弁連貧困問題全国キャラバン「生活保護とフードバンク」

日本弁護士連合会(日弁連)では、貧困の根絶を目指し、①社会保障制度の充実、②ワーキングプアの解消、③子どもと女性の貧困の根絶、④自殺対策、⑤貧困問題に関するワンストップ体制の確立などに取り組み、この活動を全国で連携して行うため、貧困問題に関する市民集会「貧困問題全国キャラバン」を各地で開催しています。

今回、栃木県で開催。生活保護の問題点と法的手続きについて、基調講演とパネルディスカッションが行われました。



■基調講演:弁護士 澤田仁史 氏 (千葉県弁護士会 日弁連貧困問題対策本部)

■パネルディスカッション

- ・ 弁護士 澤田 仁史 氏
 - ・ 聖学院大学客員准教授、NPO 法人ほっとプラス理事 藤田 孝典 氏
 - ・ フードバンクうつのみや事務局次長 曾根 裕弥 氏
 - ・ 下野新聞社会部記者 東山 聡志 氏
- (なぜ君は病に・・・社会的処方医師たちの挑戦 科学ジャーナリスト賞(優秀賞))

ネットワーク活動

1. とちぎ食の安全ネットワーク

- 2月9日(木) 第6回食の安全ネットワーク世話人会

世話人会学習会として「代替肉：欧米と国内における動向」を、世話人の宇都宮大学名誉教授 宇田先生より解説いただきました。また、2022年度の取り組みまとめと2023年度の計画（案）についての協議および、参加団体による活動報告等を行いました。

防災・被災者支援・緊急対策

1. 防災

- 2月15日(水) 2022年度第2回中央地連 大規模災害対策協議会全体会議(オンライン併用)

概要報告

- (1) 報告:12月3回大雪による配達影響について・コープデリにいがた宅配事業部次長 田中氏
大雪当日の状況についてご報告がありました。また、渋滞に遭遇した際の状況と教訓について、新潟県生協連アドバイザー渡辺氏よりご報告がありました。
- (2) 報告:サイバー攻撃への対策について・日本生協連システム企画部 久保田氏、本池氏
セキュリティ対策を経営問題として捉える必要性、システム技術的対策と職員教育・訓練といった組織運営的対策の両方が必要なこと等、それぞれの概要について解説されました。また、ならコープへのサイバー攻撃の事例について、関西地連の大規模災害対策連絡会の見逃し配信動画先の案内がありました。
- (3) 中央地連 全国BCP各エリア版の廃止および見直しについて、質疑応答を行いました。
- (4) 以前の「首都直下地震対応マニュアル」廃止提案に伴い、中央地連の「広域連携プログラム」の改訂を2段階で進めることを確認しました。
- (5) 事前アンケート(大雪災害に備えて準備していること/大雪災害にあたっての課題)を基に、大雪災害への対応のポイントについて意見交流を行いました。

栃木県生協連 2023年3月度、4月度の活動予定

2023年2月28日(火)

栃木県生活協同組合連合会

2023年3月度予定	
1日(水)	栃木県グリーン農業推進協議会 全漁連第28回全国青年・女性漁業者交流大会審査会1日目
2日(木)	全漁連第28回全国青年・女性漁業者交流大会審査会2日目
3日(金)	食料・農業・環境を考えるセミナー～今こそ見つめなおす 私たちの「食」と「環境」～
4日(土)	消費者大会オンライン
7日(火)	とちぎ食育推進連絡会
8日(水)	とちぎ消費者ネットワーク学習会講師と通信テスト
11日(土)	子どもSUNSUNプロジェクト定例会
13日(月)	とちぎコープNPO助成審査会傍聴 とちぎ消費者カレッジ(宇都宮商業高校)
14日(火)	第5回常務理事会 とちぎ消費者ネットワーク幹事会
16日(木)	とちぎ消費者ネットワーク消費者問題学習会
22日(水)	日生協中央地連運営委員会・日本生協連議案検討会議
23日(木)	適格消費者団体NPO法人与ちぎ消費者リンク学習会
26日(日)	子どもSUNSUNプロジェクト定例会
27日(月)	第1回地域部会
2023年4月度予定	
6日(木)	とちぎ食の安全ネットワーク世話人会
10日(月)	第6回くらし部会
11日(火)	第6回定例理事会
18日(火)	第6回常務理事会
25日(火)	とちぎ消費者ネットワーク幹事会
27日(木)	適格消費者団体NPO法人与ちぎ消費者リンク理事会